



動物レスキュー通信

2018年2月 第57号 (平成30年2月1日発行)

発行元 一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長
愛玩動物飼養管理士 一級
ペット災害危機管理士 三級
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

現在の猫ブーム

心配な今後



今から40年程前の1980年頃にネコブームが起きていました。その頃、大流行していたのが「なめ猫」。子ネコに衣装を着せて座らせ、正面から撮ることで直立して見えるように写真撮影し、それを自動車の免許証風のプロマイドやポスター、文具などにして売り出し、大人気になった。ブーム最盛期には交通違反者が運転免許証提示命令に対しなめ猫免許証を出して見せ、警察から発売元へクレームが入るほどの社会現象となりました。しかしマスコミや動物愛護団体から猫への虐待を疑う声が多く寄せられた事で、なめ猫ブームは終焉を迎えました。そして最近ではなめ猫などのグッズではなく、実際のネコブームが起きています。一般社団法人ペットフード協会が2017年12月に発表した同年の犬猫飼育実態調査によると、国内の猫の推定飼育数は、前年から21万7千匹増えて952万6千匹になりました(室内飼いのネコのみで、外飼いのネコは含まれない)。一方、犬は43万6千匹減の892万匹で、1994年の調査開始以来、初めて猫が犬を上回りました。私もネコを飼っているのですが、ネコの可愛さはよくわかってはいますが、これがブームで終わってしまう事で、ブームが終焉した時に、不幸なネコが増えてしまう事が一番怖いと思っています。ネコの島と呼ばれる島が全国に点在していて、テレビやインターネットなどで取り上げられ、海外でも紹介されていて、国内外から観光客が訪れています。かつては島の住民とネコたちが程良い距離を保ち、静かに暮らしていました。観光客が増える事によって島が騒々しく

なり、ゴミのポイ捨てや禁止場所でのエサやりなど、観光客のマナーの悪さも問題となつていきます。また、もともと人口が少なく、高齢者の多い島もあり、猫たちの世話や管理も難しくなり、生活環境の悪化が心配される島もあります。増えすぎた猫を不妊去勢手術で繁殖制限しようにも頭数が増えすぎて追いつかなかつたり、そこに介入しようとする動物愛護団体と島民との意見の相違によるトラブルなども起こっています。SNSなどでもネコの写真や動画は大人気で、確実にネコブームが到来していると言えます。

ネコブームの弊害

私の子供の頃はネコを飼い始めるきっかけと言えは「拾ってきた」や「子ネコ」が生まれたからもちろんですけど、それが主流だつたと思います。私が約20年前にネコを飼いはじめたきっかけも「知人が、小学生が涙ながらに飼い主になつて欲しいと訴えていたネコを3匹引き取り、そのうちの1匹を飼つて欲しいと頼まれた」というものでした。最終的に6匹まで増えたのですが、全て捨てネコを拾ってきたバッテリーです。しかし現在は純血種と言われるネコを、ペットショップで購入し飼い始める事も多いようです。テレビ番組や「マーシャル」などに出演しているネコちゃんも純血種が多く取り上げられていて、その影響をうけて純血種のネコちゃんを求めると飼い主さんもち

るようです。このように人気の純血種が出てしまうと数年後には恐ろしい事になってしまうかたや、以前のワンちゃんブームの時の事を思い出してしまいます。人気があり、売れる種類のネコを過剰に繁殖させるケースです。ネコは発情期が多く、繁殖させやすいので、人間の都合だけで発情をコントロールし繁殖させようとするれば、年に4回位繁殖させる事が可能になつてしまいます。そんなに繁殖させればもちろん母ネコの身体に負担がかかりますし、生まれてくる子ネコもベストな状態ではなくなつてくる事も安易に想像できません。先天的な病気を持った生まれてきてしまう事があります。しかしペットショップで売られている時点では全く分からず、購入して一緒に暮らし始めてから病気が判明する事も多々あります。その事により育てきれなくなつて捨てられてしまつ事もあります。そしてワンちゃんと比べてネコちゃんは散歩がいらぬ事や上下運動が出来れば狭い空間でも暮らせる事などから、簡単に飼い始めたり、去勢、避妊に関する知識がないのに安易に多頭飼いやおス、メスを一緒に飼い始めてしまう人も多く、その事が原因で「多頭飼育崩壊」と言われる状態に陥つてしまつ人もいます。最初は善意で飼い始めたはずですが、その事が捨てネコなどを増やし、ネコちゃんにとつて最悪の事態を招いてしまつ事だつてあるのです。ネコちゃんを飼う事によって心が癒されたり、生活に潤いが出る事は事実ですが、ブームに乗って深く考えずに飼い始める事だけは絶対に止めて下さい。欲しいと思つても一度立ち止まり、ネコちゃんが命を全うするまで愛情を注ぎ続けられるか、お世話をし続けられるかを自分でよく考えた上で判断して下さい。そうしてくれる人が増える事によって不幸なネコちゃんが減る事に繋がると信じておりま

す。(詩月)